

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市東海道広重美術館		
課名	観光・MICE推進課		
指定管理者名	特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト		
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和2年8月7日(金)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 岩田 智穂(観光・MICE推進課長) ②委員 萩原 智美(文化振興課長) ③〃 竹下 秀人(日本平動物園長) ④〃 風間 禎之(静岡商工会議所 中小企業相談所 商工観光課長) ⑤〃 松下 光恵(特定非営利活動法人男女共同参画フォーラムしずおか 代表理事)		
評価点 (各委員平均点)	79.0点	評価	A・ B ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>履行状況について、概ね事業計画書のとおり良好に事業が実施されていると判断する。</p> <p>様々な媒体を通じて積極的に広報活動を実施しているが、広報のエリアには課題があるという意見から、広報の取組みは改善の余地があるものとする。</p> <p>指定管理者の創意工夫について、企画展・イベントの実施にあたり異業種とのコラボレーション企画や他の美術館との連携等、毎回異なる切り口で創意工夫を凝らした内容となっており、指定管理者の持つネットワークやノウハウが十分に活用されている点が評価され、制度のメリットが十分に活かされたとする。</p> <p>桜エビの不漁等で由比地区全体の入込客数が減少しているなか地域全体での集客への取組みが始まっており、広重美術館がその中心的役割を担えるよう期待する。</p>		

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡県東海道広重美術館] 課名 [観光・MICE推進課]
 指定管理者名 [特定非営利活動法人へキサプロジェクト]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業計画書等に示された事業が、予定通り円滑に実施された。(10点)	8	8	8	10	8	8.4
(イ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。(10点)	4	8	6	4	7	5.8
(ウ) 収支状況において、概ね予算通りに執行されており良好であった。(10点)	6	8	6	8	7	7.0
(エ) 市民が展覧会や事業の情報を入手しやすくなるように、積極的な広報宣伝を実施した。(5点)	5	3	4	4	5	5.0
(オ) 地震・停電等の災害・事故発生時の危機管理体制を整備しており、発生時には迅速かつ的確な対応を行った。(5点)	3	3	4	4	4	3.6
(カ) 適正な能力を持った職員が、適切な人数配置された。(5点)	5	3	4	3	3	3.6
(キ) 設定した目標が達成された。(5点)	3	2	2	3	3	2.6
小 計	34	35	34	36	37	35.2
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者の持つ経験・専門性を活かし、多様なテーマの展覧会を企画・実施した(5点)	5	5	4	5	5	4.8
(イ) 指定管理者の持つ経験・専門性を活かし、美術館や浮世絵の魅力を伝える多角的な関連事業を企画・実施した。(5点)	3	5	4	5	5	4.4
(ウ) 指定管理者の持つネットワーク・ノウハウを活かし、他者との共催・連携等に積極的に取り組んだ。(5点)	4	5	3	5	5	4.4
小 計	12	15	11	15	15	13.6
3 市民(利用者)のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 職員の利用者に対する対応が親切丁寧であり、利用者に安心感を与えるとともに利用者の信頼感を得られるよう努めた。(8点)	5	7	7	7	7	6.6

(イ) 職員の対応能力向上に努めるとともに、利用者の苦情等には速やかに対応した。(7点)	6	6	6	6	6	6.0
小 計	11	13	13	13	13	12.6
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 収蔵品の適切な維持管理に努めるとともに、収蔵品及び関連資料の調査研究を行い、事業活動に活かした。(7点)	6	6	6	6	6	6.0
(イ) 教育普及事業等を通じ、浮世絵を中心とした芸術文化への関心を高めることに努めた。(7点)	6	7	6	7	7	6.6
(ウ) 同一敷地内にある由比本陣施設の指定管理者と連携・調整し、円滑な施設の維持管理に努めた。(6点)	5	5	5	4	6	5.0
小 計	17	18	17	17	19	17.6
合 計	74	81	79	81	84	79.0

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・小さい施設ながらメディアへの露出は多く広報努力が認められる。設定した入館者数目標は達成されていないが、地域社会への来訪者を増加させようという試み汲んで3点とする。
- ・収蔵資料を活かした多彩な企画展を評価したい。
- ・施設単体でなく地域の魅力向上のための活動によって来訪者増を狙う取り組みは評価したい。
- ・市民（利用者）へのサービスの向上については、管理者として普通の取り組み。
- ・利用者満足度80%を超えており良好。
- ・市外の教育委員会等への働きかけ、由比本陣公園全体の魅力向上への取り組みは評価できる。
- ・施設が地域の観光の中心的役割を果たすことをよく理解して業務を実施している。
- ・学芸員の研究テーマが前面に出た企画を実施しても良いと思う。

【B評価委員】

- ・各種媒体への広報活動を行っており、海外で人気の浮世絵を外国人観光客に向けても発信している点は評価できる。ただし、来館者数アップにつながる広報の工夫も必要であると感じた。
- ・静岡市美術館との相互入館や島田美術館との連携等、美術館同士の連携は評価できる。
- ・美術館としての対応だけでなく、観光案内についても丁寧な対応をしている点は評価できる。
- ・スクールプログラムや出張ワークショップ等、美術館から外に出た取り組みは評価できる。
- ・4年間とも設定した来館者数目標が達成できなかったことが残念。
- ・サクラエビだけに頼らない“ゆいまるプロジェクト”の発足は大いに期待できるため、美術館がその中心となって魅力を最大限に発信してもらいたい。

【C評価委員】

- ・概ね事業計画通り実施できている。
- ・広報活動については、もう少し広域的に行うことで設定目標が達成され则认为。
- ・展覧会のチラシは非常に良い。
- ・利用者のサービス向上への取り組みについては、親切丁寧な対応を心がけている。
- ・教育普及事業は重要な事業であり、事業への取り組みは大変評価できる。
- ・施設の維持管理は重要であるため、適正な実施をするように。

【D評価委員】

- ・年5回の展覧会事業をしっかりやっており評価できる。
- ・地元の静岡鉄道創立100周年事業や徳川事業とのコラボなど市民にとって良い企画で評価できる。
- ・来館者満足度調査で「とても良かった」「良かった」が80%を超えており、評価できる。
- ・教育委員会、地元小中学校へのアピールはとても大事なことであり、評価できる。
- ・浮世絵という専門分野ということもあり、学芸員の知識やおもてなしが大切で指定管理者として評価できる。

【E評価委員】

- ・業務仕様書はよく読んで、点検はきちんと実施してほしい。
- ・限られた予算の中で良い企画を行っている。
- ・管理者と職員の美術館に対する共通認識・ビジョンは持っているか。
- ・報告書は見やすくよくまとまっているが、収支がわかりにくかった。
- ・アンケートも丁寧にまとめている。自由記入のその他の欄は意見の内容ごとにまとめられると、どのような点が評価され、どのような点に改善が必要であるか明らかになるのでは。
- ・ガイダンスルームの説明は長すぎず、わかりやすい。
- ・スクールプログラム、ゆいまるプロジェクト、ゆい年賀状版画コンクールは他との協働としてとても良かった。

評価委員会としての意見

各企画展については、地元企業とのコラボレーションした企画の開催など、限られた予算の中で工夫して実施しており、チラシも工夫が凝らしたものとなっていて良い。

スクールプログラムや出張ワークショップ等の美術館から出ていく取り組みも良い。

広報活動については、メディアの露出や様々な媒体を利用している点は評価できるが、もう少し広域的に行えると良い。

各年度、入館者の目標人数には届いていないが、サクラエビに頼らない“ゆいまるプロジェクト”の取り組みなど地域全体への集客を意識しており、地域の中で美術館が中心的役割を果たすこともよく理解しているので、今後の活動に期待したい。

施設の維持管理については、業務仕様書を確認し、点検等をきちんと行ってほしい。